

## 「マクロ経済学Ⅰ」試験問題（2015年7月17日9時30分～10時30分施行）

法政大学（リベラルアーツ）2015年度春学期、担当者名：蓮見 亮

問題用紙は1枚紙表裏（全4ページ、問4まで）、解答用紙は別紙

持ち込み不可

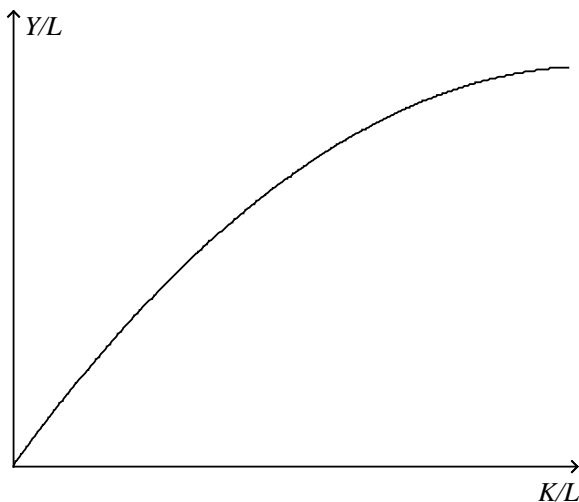
電子機器は電卓のみ使用可

問1. 以下の文章が正しければ解答欄に○印を、誤っていれば×印を記入しなさい。

1. 代替バイアスは、CPIの計測において、消費者が相対的にあまり高くない財に消費を代替する可能性を無視している理由により生じるものである。
2. もしある年から次の年にかけて価格が変化せず、財の質が悪化したら、ドルの価値は下がっていることになる。
3. GDPデフレーターを計算するために用いられる財・サービスのグループは年によって自動的に変化するが、CPIを計算するために用いられる財・サービスのバスケットはそうではない。
4. 実質利子率は、あなたの銀行口座の購買力が時間とともにどれほど速く上昇しているかを表している。
5. アーチーは銀行に預金口座を持っている。もし彼の口座の利子率が6%で経済状況がデフレであるなら、彼の購買力は1年過ぎたころに6%以上上昇している。
6. エクイティ・ファイナンスとは、株式もしくは債券の発行によって資金調達をすることである。
7. 企業が財政的な問題に直面したとき、債券保有者は株主より先に償還される。
8. 専門の資産運用管理者が積極的に運用する投資信託の運用成績は、インデックス・ファンドを一般的に上回る。
9. ジョアンは投資信託を購入するために所得の一部を使用した。マクロ経済学者はジョアンの購入行動を投資と呼ぶ。
10. 国民所得勘定では、貯蓄や投資が経済全体で等しいだけでなく、個々の家計や企業でも等しくなる。
11. 2年後に支払われる額が100ドルの場合の現在価値は、3年後に支払われる100ドルの現在価値よりも少ない。
12. リスク回避的な人は、同等の良い結果を好む以上に、悪い結果を嫌う。
13. 逆選択（アドバース・セレクション）とは、保険加入後にリスクの高い行動に出る人のことを表している。
14. 株式の価値は、配当を生み出す企業の能力と、株主がその株を売却する際の株価次第である。
15. 効率市場仮説によれば、株価が割高と考えている人の数と、割安と考えている人の数が拮抗していると言える。
16. 貨幣は価値貯蔵手段としての機能を持つ唯一の資産である。
17. アメリカドルは商品貨幣の一例であり、土地は不換紙幣の一例である。
18. 準備率をRで表したとき、貨幣乗数は $1/(1 - R)$ に等しい。

19. 11月と12月には、アメリカ国民は貨幣として現金通貨を多く持つようになる。これは買い物をしたり休暇中に旅行をしたりするためである。この結果として、他の要件が同じ場合、貨幣供給は増加する。
20. 自由に扱うことのできるさまざまな手段があるため、中央銀行は貨幣供給を正確にコントロールすることができる。
21.  $P$  が貨幣で測った財やサービスの価格であるとする、 $1/P$  は財やサービスで測った貨幣価値である。
22. 貨幣需要量が貨幣供給量よりも多い場合、貨幣価値は上がる。
23. 貨幣の中立性とは、貨幣供給の変化に伴い実質変数は変化するが、名目変数は変化しないことを意味する。
24. 貨幣供給が10%増加し、同時に貨幣の流通速度は10%減少したとする。貨幣数量方程式によると、物価水準は変化しない。
25. フィッシャー効果によると、インフレ率が高くなると名目利率が上がる。

問2. 以下の図において、横軸 $K/L$ は労働者(L)当たりの資本(K)、縦軸 $Y/L$ は労働者(L)当たりの生産(Y)を表している。



以下の各問の選択肢のうち正しいものを a ~ d のいずれかの記号で解答しなさい。

1. この曲線は労働者1人当たりの資本量が増えるにつれて平らになっている。これは、
  - a. 資本に対して収穫逓増であるからである。
  - b. 労働に対して収穫逓増であるからである。
  - c. 資本に対して収穫逓減であるからである。
  - d. 労働に対して収穫逓減であるからである。
2. 図中の曲線の形状について以下の記述の中で当てはまるものはどれか。
  - a. 長期的に見て、より高い貯蓄率はより高水準の生産性をもたらす。
  - b. 長期的に見て、より高い貯蓄率はより高水準の所得をもたらす。
  - c. 長期的に見て、より高い貯蓄率はより高い生産性成長率もより高い所得の成長率ももたらさない。

- d. 上記はすべて正しい。
3. 図中の曲線の形状について以下の記述の中で当てはまるものはどれか。
- 長期的に見て、より高い貯蓄率はより高い生産性成長率をもたらす。
  - 長期的に見て、より高い貯蓄率はより高い所得成長率をもたらす。
  - 資本に対する収益は労働者1人当たりの資本量の増加に伴って、ますます減少する。
  - 上記はすべて正しい。
4. 図中の曲線上の任意の点を選び、それをA点とする。ある経済の状態が2011年にA点にあるとしよう。2012年にもA点にとどまるのは、2011年から2012年の間にどんなことが起こったときか。
- 物的資本量は一定で、労働者の数は2倍、人的資本や天然資源や技術もすべて2倍となったとき。
  - 物的資本量は2倍、人的資本や天然資源や技術はすべて同様に2倍になり、労働者の数が一定だったとき。
  - 物的資本量は2倍、労働者の数は2倍、人的資本や天然資源や技術もすべて2倍となったとき。
  - 物的資本量は2倍、労働者の数も2倍になるが、人的資本や天然資源や技術はすべて一定だったとき。

問3. GDP（国内総生産）について、以下の間に答えなさい。

- I. GDPの定義を説明しなさい。必要に応じて「付加価値」という用語を用いること。
- II. 実質GDPを社会の経済的福祉の尺度として考えた場合、不十分な点がしばしば指摘される。どのような点で不十分か、必要に応じて「環境」「余暇」という用語を用いて説明しなさい。
- III. 次の表をみて、(1)～(6)の2014年の値を答えなさい。(4)～(6)については、小数点以下第2位を四捨五入した値を回答すること。

【2014年の実質国内総生産（2005年価格）】

民間最終消費支出	311
民間住宅	14
民間企業設備	72
政府最終消費支出	102
公的固定資本形成	23
在庫品増加	-2
財貨・サービスの輸出	90
財貨・サービスの輸入	81

(単位：兆円)

【2014年のデフレーター】

GDPデフレーター	93
-----------	----

(単位：2005年=100)

【2013年の国内総生産】

実質GDP（2005年価格）	527
名目GDP	488

(単位：兆円)

- (1) (一国全体の) 投資
- (2) 財貨・サービスの純輸出

- (3) 実質国内総生産
- (4) 名目国内総生産
- (5) 実質成長率 (%)
- (6) 名目成長率 (%)

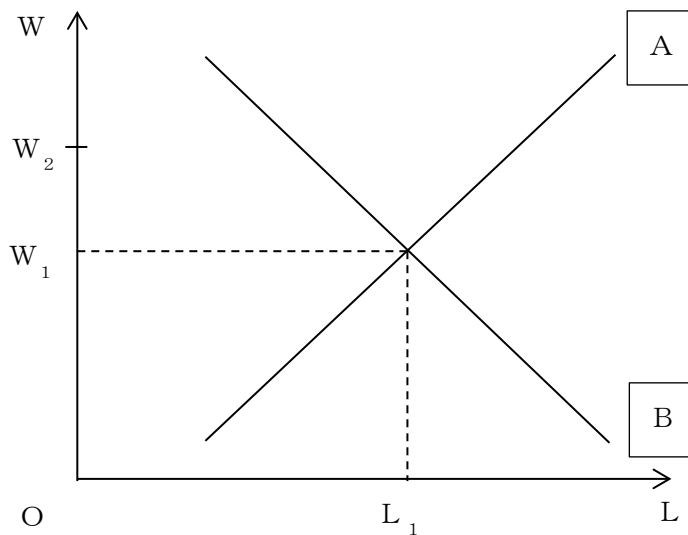
IV. 名目GDPと実質GDPのどちらが社会の経済的福祉の尺度として適切か解答した上で、その理由について説明しなさい。

問4. 労働市場における最低賃金の影響について考えよう。まず最低賃金の規制がない場合を考える。労働市場において最低賃金の規制がない場合に、下記の図において賃金 $W_1$ 、労働者数 $L_1$ の点で労働市場が均衡していたものとする。

(1) 以下の文章において [ ] に入る適切な語句を解答欄に記入しなさい。

図中において、曲線Aは [ ① ] の労働 [ ② ] 曲線を表し、曲線Bは [ ③ ] の労働 [ ④ ] 曲線を表す。

(2) いま、政府が $W_1$ より高い水準に最低賃金 $W_2$ を定めたとする。この場合の労働市場において、雇用される労働者数および失業者数（余剰）について、下記の図を用いて説明しなさい。解答欄の左の図に記入し、右のボックス内に説明を記述すること。



(問題はここまで)